



2022年11月9日

各位

会社名 日本 KFC ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 判治 孝之
(コード番号 9873 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 蜂谷 由文
TEL.(045)-307-0605

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向等を踏まえ、2022年11月9日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	101,200	4,800	4,800	2,900	129円83銭
今回修正予想(B)	97,000	2,200	2,600	1,600	71円62銭
増減額(B-A)	△4,200	△2,600	△2,200	△1,300	
増減率(%)	△4.2	△54.2	△45.8	△44.8	
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	97,520	6,106	6,939	4,557	203円94銭

(注) 今回修正予想の1株当たり当期純利益は、期中平均株式数22,340,598株に基づいて算出しております。

2. 業績予想の修正理由

当社グループにおいては、中期経営計画の2年目にあたり、積極的な新規出店、ブランド力の維持・向上を目的とした既存店舗の改装促進、お客さまの利便性向上等を目的としたDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を重要施策と位置付けております。

主力のケンタッキーフライドチキン(KFC)においては、まん延防止等重点措置の解除による消費動向の変化、原材料価格及び資源価格等コスト上昇の影響を受け、当第2四半期(2022年4月～2022年9月)の業績につきましては、既存店売上高が前年同期比94.6%、既存店客数が同95.0%と前年を下回る状況で推移しており、利益面におきましても同様に前年を下回る状況で推移しております。

他方、当社の持分法適用関連会社においては、本日公表の「営業外収益の計上に関するお知らせ」にも記載のとおり、緩やかながらも業績回復の兆候が見え始めております。

今後も消費者の購買行動、原材料価格及び資源価格等コスト上昇については、極めて不透明な状況が継続するものと予想されます。これに伴い、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表の業績予想を下回る見通しとなりましたことから、2023年3月期の通期連結業績予想について、上記のとおり修正することといたしました。

なお、配当予想につきましては、本件業績予想の修正に伴う変更はありません。

(注) 上記に記載した予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上